

商工連プラザ

11
VOL.344

商 工 会 は 行 き ま す 聞 き ま す 提 案 し ま す



1. 国宝 正福寺地蔵堂:毎年11月に地蔵まつりが開催され、多くの人出で賑わいます。 2. 八国山緑地:山頂から八か国(上野・下野・常陸・安房・相模・駿河・信濃・甲斐)の山々が見渡せたことが名前の由来といわれています。 3. 北山公園:八国山を背景に広がる自然公園。菖蒲まつりが開かれる初夏には10万本の花菖蒲が咲き乱れます。 4. ふるさと歴史館:東村山の古代から現代までの歴史や民俗などが展示されています。

▶ CONTENTS

- ②「地域連携型事業承継ネットワーク会議」がスタート
都商工連 多摩・島しょ経営支援拠点
- ③ 都商工連が自由民主党の「平成31年度国家予算・税制改正等要望聴取会」で要望
消費税引き上げと軽減税率導入への支援強化/小規模企業の実態を踏まえた
働き方改革の実施/円滑な事業承継のための税制改革への配慮などを求める
平成30年度 関東ブロック青年部「主張発表大会(東京大会)」開催
- ④ 都商工連が都議会各党に平成31年度東京都予算などで要望
・東京都功労者表彰 佐藤光弘(前日野市商工会会長)が産業振興で表彰
・人事交流
- ⑤ <連載>わが社の経営革新計画(北川電機株式会社/調布市)
- ⑥ <連載>多摩おこし・島おこし(ウチノ板金/東村山市)
・多摩地域商工会エリアの景況(平成30年度第2・四半期)
- ⑦ <連載>私と商工会(藤太軒理容所/日の出町)
- ⑧ 多摩・島しょ地域のイベント(12月~1月)
・江戸・TOKYO 技とテクノの融合展2018
・東京多摩観光フェア 多摩観光推進協議会がJA・JR東日本と共催

東村山市
Higashimurayama

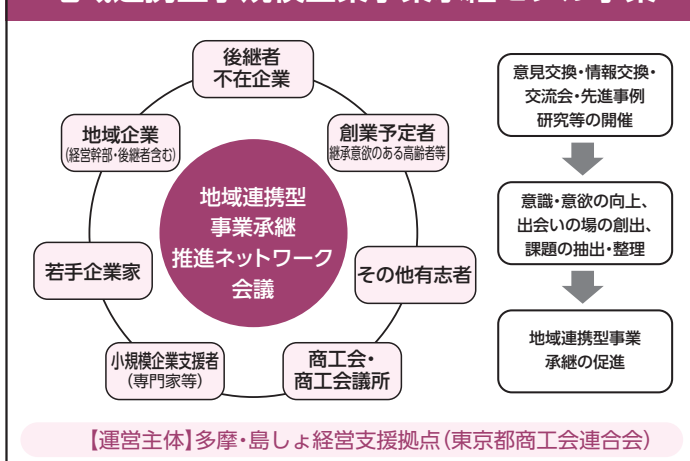
発掘！ 商工会地域の観光資源

東村山市は、武蔵野台地の中央部に位置する人口15万人の緑豊かな住宅都市です。市内には都内唯一の国宝木造建造物である正福寺地蔵堂など、文化財や史跡が数多く残されています。

また、八国山、野火止用水には武蔵野の面影を残す雑木林があり、自然にも恵まれています。江戸時代から「麦切り」と呼ばれてきた伝統的な「武蔵野うどん」や、最近、ご当地グルメとして人気がある「東村山黒焼きそば」など、地域が誇れる食であふれています。

商工会では、これらの地域食を厳選して地域ブランド「里に八国」に認定し、産業観光資源として広く紹介しています。都市農業も盛んで、多摩湖梨や葡萄などのブランド果樹が栽培されています。

地域連携型小規模企業事業承継モデル事業



▲平成30年度モデル事業概念図

経営支援拠点は、2017年度から「地域連携型小規模企業事業承継モデル事業」を推進しています。地域活性化の観点から、地域にとって必要なサービスや商品などを提供する小規模事業者の事業

や個人、中小企業診断士等の専門家、および商工会経営指導員で構成するネットワーク型の組織です。後継者不在企業と事業承継意欲が高い地域企業を積極的に発掘して交流の場を提供、接触の機会を増やしてスムーズな事業承継につなげていくことを目的としています。

地域に必要な事業を地域の事業者が引き継ぐ

「地域連携型事業承継推進ネットワーク会議」がスタート

会議や勉強会を開催。後継者不在企業と事業承継意欲が高い地域企業の交流の場を提供！

多摩・島しょ経営支援拠点



▲第1回会議の様様

を、同じ地域の別の企業や個人が引き継ぐ形の「地域連携型事業承継」を支援しています。

同ネットワーク会議では、2018年3月までに

「会議を3回、先進事例研究などの勉強会」を3回開催する予定です。

会議では、意見交換、情報交換、交流会などを通じて、後継者不在事業者の地域内での第三者事業承継に向けた意識・意欲の向上を図るとともに、出会いの場を創出し、双方の課題の抽出や整理を行います。勉強会では事業承継の成功事例について、当事者が講師となって、第三者事業承継に至った具体的なプロセスなどについての講義や、他府県における先進的な取り組み事例についての研修を行う予定です。

第1回の会議では17人の委員を委嘱し、座長には中小企業診断士の塩野富佐男氏が就任しました。事務局は経営支援拠点に置きます。

小規模事業者向け

「事業承継スタートアップガイド」ができました!!

実際にあったトラブルや失敗例も紹介

多摩・島しょ経営支援拠点(東京都商工会連合会)は、事業承継への取り組みが遅れている小規模事業者向けの『事業承継スタートアップガイド(写真)』を作成しました。実際にあったトラブルや失敗例を紹介し、対策や問題解決のアドバイスを示して、事業承継をより身近に捉えていただけるように構成しました。

本ガイドには、①承継の準備をしない方、承継を考えている方、後継者の方のいずれもが利用できる内容②後継者、会社経営、資産のチェック表で具体的な承継準備が進められる③平成30年度から大きく変わった事業承継税制の説明や、商工会等による支援の利用案内がある、の3つの特徴があります。



- お近くの商工会・商工会議所の窓口で入手できます。
- 多摩・島しょ経営支援拠点ホームページ(<https://t2base.tokyo/>)からもダウンロードが可能です。

東京都
商工会連合会

「消費税引き上げと軽減税率導入への支援の強化」や
「円滑な事業承継に向けた税制度改革」などを求める

平成31年度 自由民主党の国家予算 税制改正等要望聴取会で

東京都商工会連合会(都商工連)は10月1日、東京・永田町の自由民主党本部で開かれた、同党東京都支部連合会の平成31年度国家予算・税制改正等要望聴取会に出席し、「制度改正」、「小規模企業振興」、「地域」の3分野で計14項目を要望し、その実現を求めました。

平成31年度 国家予算・制度等に対する要望

制度改正

- 一、消費税の引き上げと軽減税率導入に対する支援の強化について
- 二、中小・小規模企業の実態を踏まえた「働き方改革」の実施について
- 三、地域別最低賃金の決定方法の改善について
- 四、中小・小規模企業の円滑な事業承継に向けた税制度改革について

小規模企業振興

- 一、小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について
- 二、小規模事業者向け融資制度の一層の充実について
- 三、官公需の更なる中小・小規模企業配分について
- 四、中小・小規模企業の社会保険料の負担軽減について

地域

- 一、ホームドア等利用者の転落防止施設整備の早期実現について
- 二、商店街の活性化について
- 三、多摩地域都市基盤整備の早期実現について
- 四、横田飛行場の民間利用促進について
- 五、離島航空路線における現行便数の維持について
- 六、小笠原空港の早期開設について



▲平成31年度国家予算・税制改正などで要望を述べる村越会長(中央)

を踏まえた働き方改革の実施や小規模企業の円滑な事業承継のための税制度改革への配慮を要望しました。

村越政雄都商工連会長は冒頭、2020東京大会について触れ、「観光などで訪れる外国の方に多摩の良さや東京の魅力を体験してもらい、それを観光やビジネスに結びつけたい。昨年9月に商工会や観光協会、JA、自治体などが参加した広域的な組織である多摩観光推進協議会を設立した。この協議会を中心に海外に向けて多摩の魅力を発信していきたい」と述べました。

基本方針では「制度改正」の要望で、来年10月の消費税引き上げと軽減税率の導入に対する支援の強化を求めるとともに、小規模企業の実態

東京・昭島市に11都県の商工会青年部員861人が結集!

平成
30年度

関東ブロック商工会青年部「主張発表大会」

東京都代表の小寺良治さん(清瀬商工会)が熱演



▲熱演する小寺さん

関東ブロック商工会青年部連絡協議会が主催する「平成30年度 主張発表大会(東京大会)」は9月13、14日の両日、関東ブロック11都県の商工会青年部員861人が参加して、東京・昭島市のKOTORIホールなどで開かれました。東京都商工会青年部連合会(都青連)からは105人が参加しました。

今大会を主管する東京都商工会青年部連合会の鈴木悟会長は「都商工連地域の昭島市で関東ブロックの主張発表大会が開催できたことを喜びたい。今回の大会スローガンはチェンジ・チャレンジ・チャンス。大会名を主張発表大会にし、研修会を講演会からパネルディスカッションに変えた。これもチェンジでありチャレンジ!」と挨拶しました。続いて、来賓の村越

政雄都商工連会長、五十嵐悟関東経済産業局産業部次長、坂本雅彦東京都産業労働局商工部長からご挨拶をいただきました。

主張発表大会では11人の都県連代表が、2枚の全国大会への切符を目指して競いました。その結果、「地域の活性化と幸せの創造に向けた青年部活動」のテーマで発表した栃木県芳賀町商工会の森敦さんが最優秀賞に選ばれました。優秀賞の埼玉県伊奈町商工会の荻野聡さんとともに広島市で開かれる全国大会に進みます。東京都代表として出場した清瀬商工会の小寺良治さんは「決意」のテーマで熱演しました。

大会終了後、交流会・物産展がフォレスト・イン昭和館で開かれ、交流を深めました。



▲挨拶する鈴木都青連会長

「小規模企業振興」の要望では、小規模企業の継続的な発展に向け、小規模企業の実情を踏まえた支援策の充実や、商工会を中心とした支援体制の維持強化を図るよう求めました。また、「地域」の要望では、特に島嶼地域の企業経営や、島民の生活に直結した離島航空路線の現行便数の

維持、小笠原空港の早期開設などを訴えました。

村越会長と、山下真一副会長、込山雄茂副会長、傳田純専務理事、清水晋事務局長らが出席し、要望を伝えました。村越会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が重点項目を中心に要望の詳細について説明しました。

東京都商工会連合会

都議会各党に

平成31年度

東京都予算などで要望

5分野16項目

重点

「小規模企業振興」「観光振興」「ものづくり振興」

東京都商工会連合会（都商工連）は9月初旬までに、東京都議会の各党を訪ね、平成31年度の東京都予算などに対して要望しました。9月3日に開かれた都議会自由民主党の予算要望ヒアリングでは、小規模企業振興、観光振興、ものづくり振興、多摩地域要望、島嶼地域要望の5分野16項目を要望しました。

重点要望として、①小規模企業支援のさらなる充実と商工会等を中核とした実効性ある支援体制の強化、来年10月に予定されている消費税の増税と軽減税率導入に対応した支援の強化などの「小規模企業振興」②2020東京大会を契機に多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークへの支援強化と、多摩地域への観光客誘致などの「観光振興」③ものづくり中小・小規模企業への支援の充実、人材確保支援の強化など「ものづくり振興」の3つを挙げました。村越政雄都商工連会長は、東京都



▲平成31年度予算などで要望の基本方針を述べる村越会長（中央）

への要望の基本方針を説明する中で「多摩島嶼地域の中小・小規模事業者は、経営者の高齢化や後継者難などで事業者数が減少し製品出荷額も減少するなど、厳しい状況下にある。来年10月に予定される消費税の引き上げと軽減税率の導入も負担となる。事業者を強力に支援するための予算を、引き続き十分に確保していただきたい。また、開催まで2年を切った2020東京大会に対する事業者の期待も大きい。観光やビジネスに結び付け持続的な発展につなげるために、ご支援をお願いしたい」と述べました。

村越会長と、山下真一、込山雄茂、奈良部義彦、長谷川一也の4副会長、傳田純専務理事、清水晋事務局長らが出席し、要望を伝えました。村越会長が基本方針を述べ、傳田専務理事が重点項目を中心に要望の詳細について説明しました。

平成31年度
東京都予算などに
対する要望

要望

一、小規模企業振興（重点）

①小規模企業への支援のさらなる充実について

②商工会等を中核に支援力を強化した実効性ある支援体制の強化について

③消費税の増税と軽減税率導入に対する支援の強化について

④東京都受動喫煙防止条例の施行に係る支援について

二、観光振興（重点）

①多摩の観光振興を推進する広域的なネットワークへの支援の強化について

②多摩地域への観光客誘致について

三、ものづくり振興（重点）

①ものづくり中小・小規模企業への支援の充実について

②中小・小規模企業の人材確保支援の強化について

東京都功労者表彰

佐藤光弘 前日野市商工会会長が
「産業振興」で表彰

奈良部義彦都商工連副会長が会長を務める多摩稲城防犯協会が「地域活動」で表彰

2018年度の東京都功労者表彰式が10月1日、都庁で行われ、佐藤光弘前日野市商工会会長が「産業振興」の功労者として表彰されました。佐藤氏は日野市商工会会長として地域産業の振興に尽力された功績が認められました。また、奈良部義彦東京都商工会連合会副会長（稲城市商工会会長）は、会長を務める多摩稲城防犯協会が「地域活動」で功労団体となり、同協会を代表して表彰を受けました。

今年度、東京都功労者として表彰されたのは、地域活動、福祉・医療・衛生、スポーツ振興、

産業振興など、13の分野の個人278人と24の団体です。

小池百合子東京都知事は式辞で「東京の地方自治や社会福祉、産業振興などの向上と発展へのご尽力に感謝します」と述べました。



▲産業振興功労で表彰された佐藤光弘氏

人事交流

【採用】（9月1日）▽昭島市・業務 西岡誠也
【退職】（9月30日）▽都連 多摩観光推進協議会事務局・業務 鈴木友望
※地域名は商工会名、「都連」は東京都商工会連合会、「業務」は業務支援員の略です

- ③中小・小規模企業の防災・省エネに関する支援の充実について
- 四、多摩地域要望
- ①多摩地域都市基盤整備等の早期実現について
- ②横田飛行場の民間利用促進について
- ③大規模小売店舗による地域社会への貢献について
- ④地域の賑わい創出のイベント等での臨時出展届出制度の改善について
- 五、島嶼地域要望
- ①離島航空路線の便数確保および燃料への補助制度の支援について
- ②海上貨物輸送のための冷凍・冷蔵コンテナの確保について
- ③小笠原空港の早期開設について

新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の 経営革新計画

PART2
No.10

自社製品の性能評価
業務を事業化へ!
社員のモチベーションが
上がる

北川電機株式会社
(調布市)



代表取締役 北川 秀秋 氏
(きたがわ ひろあき)

当社は、医療機器用トランスや、海外安全規格(米UL等)対応のトランス、高周波トランスなど、さまざまな装置を安全かつ高効率に稼働させるために組み込まれるトランスを製造販売してきた。1969年に父が創業し、私は2代目。来年、50周年を迎える。調布市商工会さんとお付き合いも25年。現在は工業部会副部会長を務めている。

直近の当社の製品比率は、海外安全規格品30%、高周波製品30%、医療用20%、その他が20%。標準的な商用周波数のトランス市場が縮小する中、カスタムメイドの製品を提供するなど、高付加価値化を進めている。

近年、高速パワー素子の製品化に伴い、大容量インバータの小型化や高効率化が装置用電源の開発テーマとなっている。現在は20〜30キロHz

の駆動周波数が主流だが、次世代電気自動車に搭載される大容量非接触給電装置では85キロHzが採用されるといわれるなど、50〜100キロHz帯の開発が進んでおり、顧客のニーズもこれに対応した大容量高周波トランス・リアクトル(注)あるいは、高電圧高周波トランス、高耐圧リアクトルの開発に移行している。

高周波大容量・高周波高電圧へというニーズの変化への対応が急がれているが、トランスメーカーには低周波品と異なる設計・評価のノウハウや設備が必要であり、これに対応できているメーカーは少ない。ユーザーは購入したトランスを装置に組み込み、性能を評価するが、トランスに不具合が発生した場合、トランスメーカーに再製作を依頼することになる。これではユーザーの開発計画に大きな影響が出てしまう。

私は「自社で製品評価技術を確立しユーザーの信頼を得なければならぬ」と強く感じた。そこで、2012年に高周波部分放電試験装置、2013年にはリアクトル評価用高周波電源を導入し、本格的な高周波製品の開発に着手した。これらの設備導入は、ものづくり補助金(ものづくり・商業・サービス革新補助金)などの補助金も活用しながら行ってきた。

この判断は、当社製品の信頼性向上につながった。電子顕微鏡の大手メーカーが、他社のトランスが繰り返し起す部分放電不良で困っていた時に、当社がこれを解決した。導入していた高周波部分放電試験装置

が威力を発揮し、ユーザーの要求性能を満たす製品の提供と信頼を勝ち得た。これが評価業務の重要性を認識し、その事業化を目指すきっかけになった。

今回、経営革新計画の申請で対象とした新事業が「高周波トランス・リアクトルの性能評価を自社で行い、結果を顧客に提供する事業」。

幸い承認が得られ、評価装置のさらなる拡充に向けた資金計画が作りやすくなる。この事業はトランスのユーザーである装置メーカーの試作開発期間の短縮につながるだけでなく、大手メーカーの研究開発部門と直接関わることで、当社の若手技術者の能力向上とモチベーションアップが図れる。当社のように少量多品種のカスタムメイドを主としているメーカーにとって欠かせない業務であり事業といえる。最近はその研究機関からの問い合わせも多くなってきた。

注リアクトルとリアクトルは作り方や使用材料が同一で、外観も変わらない。トランスの役割は「変圧」と「絶縁」リアクトルは「整流」や「昇圧」。別々に使用される場合とセットで使用される場合がある。



▲医療用絶縁トランスユニットシリーズ
[μBOX]

本 社: 182-0034
東京都調布市下石原3-26-4
TEL: 042-485-3489
URL: www.kitagawa-denki.co.jp

職場のメンタルヘルス 対策推進キャンペーン

東京都産業労働局

ポジティブメンタルヘルスシンポジウム&相談会

期 日 11月15日(木) 13:00開場 場 所 東京・大手町の日経ホール(参加無料・要事前予約) 対 象 経営者・管理監督者・人事労務担当者等

【シンポジウム 13:30~17:00】

基 調 講 演 演 題: 健康でいきいきと働ける職場づくりに向けて: 組織開発を考える
講 師: 北居 明氏 (甲南大学経営学部教授)

パネルディスカッション テーマ: 健康でいきいきと働ける職場づくり: 職場でのポジティブメンタルヘルス

パネリスト: 北居 明氏、江口 尚氏 (北里大学医学部講師)、ポジティブメンタルヘルスに取り組む都内企業2社
モデレーター: 中辻めぐみ氏 (特定社会保険労務士)

【個別相談会 13:00~18:40】

産業カウンセラーなどの専門家が、メンタルヘルス対策の具体的な進め方や個別事例への対処方法について相談に応じる。

問合せ先 東京都産業労働局雇用就業部労働環境課

TEL 03-5320-4652

申込・詳細 hataraku.metro.tokyo.jp/kaizen/mental/suishin/



お客様の声をできるだけ
近くで聞ける存在でありたい

株式会社 ウチノ板金
代表取締役 内野 友和 氏

多摩おこし・島おこし

この人に聞く

No.13

—B to Cビジネスへの転換を掲げておられます。

35歳で代表に就いて以来、建設業の下請け構造からの脱却を目指しています。当社は、屋根工事などが主の板金加工・施工会社ですが、元請け業者からの仕事だけではなく、地域のお客様との直接取引を増やしていきたいからです。また従業員の安全面や健康管理面、コスト面を考慮し、基本的に片道1時間以内で行ける場所をサービスエリアとする地域密着型の事業を展開しています。多くのお客様に当社を知っていただくために、ホームページやSNSの充実にも力を入れており、現在、お客様との直接取引が全体の半分を占めるほどになっています。

—職人さんの意識改革にも努められています。

一度屋根に上がったら逃げられません。たとえ新人でも自分で考え「僕が屋根を守る」という気概を持たせるようにしています。また、革新的なアイデアや技術に挑戦することにも意欲的であって欲しいと思っています。幸い、職人全員がそうのように意識を高く持ち、様々な情報を共有して、「自分たちが楽しければお客様も喜んでくれる」という共通の認識を持つようになってきました。今後もお客様の声をできるだけ近くで聞ける存在でありたいと思っています。

—銅や真鍮(しんちゅう)を使った工芸品を販売する「和國(わくに)商店」というお店もお持ちですね。

職人さんの高齢化もあり、体力的に厳しい現場での仕事は難しくなっています。ただ、現場で鍛えた熟練の技を埋もれさせるの

はもったいない。何とか生かせないかと考え、工芸品の製造販売を始めました。社のPRにもつながっており、施工先のお客様からも多くのご注文がきています。東村山市の姉妹都市である米国・インデペンデンス市にも、真鍮の折り鶴を市を通じてお届けしました。

—ウチノ板金さんにとって商工会はどのような存在ですか。

地域の特性を熟知したプロ集団だと思います。事業で気になることがあったら、まず商工会さんにご相談という具合。ご支援のおかげで小規模事業持続化補助金の申請では3回連続で採択され、ホームページ作成や新規事業などに活用しています。

〒189-0003 東京都東村山市久米川町5-8-40
TEL:042-391-5251
HP:<http://www.uchinobankin.co.jp/>



和國商店が販売している真鍮製の折り鶴▲

中小企業 景況調査

多摩地域商工会エリアの景況

30年度
第2・四半期
7～9月

売上DIが全業種で悪化 建設業の悪化は4期連続

製造業

売上高前期比DIと採算期中DIが悪化。資金繰りDIは改善。経営上の問題点の第1位は3期連続「従業員の確保難」。

小売業

売上高前期比DIと採算期中DIが悪化。資金繰りDIは小幅に改善。経営上の問題点の第1位は14期連続「大・中型店との競争激化」。

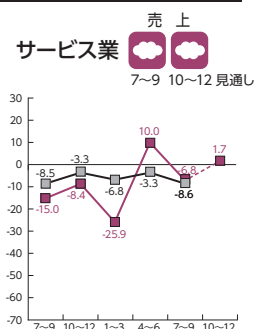
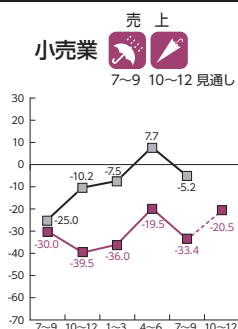
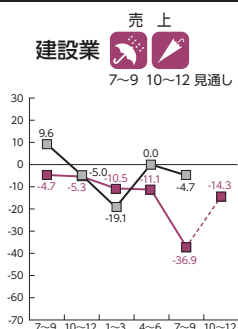
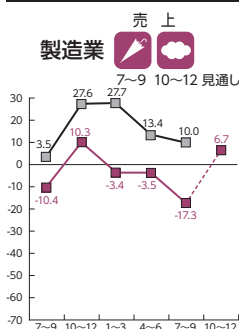
建設業

売上高前期比DIが4期連続で悪化。採算期中DIと資金繰りDIはマイナス圏に転落。経営上の問題点の第1位は「請負単価の低下、上昇難」に変わる。

サービス業

売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも悪化。経営上の問題点の第1位は2期連続「従業員の確保難」。

売上高(前期比DI)・採算(期中DI)の推移



調査企業の声

* 同業他社との価格競争により受注単価が低下し、人件費の増加と原材料費の上昇を価格に転嫁できない。(金属工作機械用部品・附属品製造業)

* 最近の設備機器は単価が低く、工事単価も上がりにくい。また、8月は非常に暑いエアコンの売上が多い割に利益は出ていない。(建築リフォーム工事業)

* 大型店の進出およびネット通販による売上の減少。カードおよびスマホ等による決済の取り組みを考える。(紙・文房具小売業)

* 天候の影響で原材料価格が上昇し利益を圧迫している。暑さで客足も伸びない。明るい兆しとしてインバウンド需要が目に見えて増えている。(日本料理店)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。

注2. DIマーク ※:+30~ ☼:+10~+30 ☁:+10~-10 🌧:-10~-30 🌩:-30~
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

私と商工会

| No.26 |



▲左から渡邊賀津彦さん、長女・かよ子さん、母・橋本敏子さん、妻・英子さん

100年続く店に向け 4代目も 新店舗開業

「どうしたら、お客様が心地よくゆっくり休めるだろうか」を考えるのが一番の仕事

とうきょう

藤太軒理容所 |
渡邊 賀津彦 さん

祖父が創業した昭和3年から使っている柱時計のネジを2日に1度巻いています。大きな鏡も、少しくたびれが見える床も、ほぼ当時のままです。私たち夫婦で3代目。この店の90年の歴史を静かに見守ってきた時計は、まだしっかりと時を刻んでいます。

屋根の藤太軒理容所の看板も雰囲気があって、遠くから訪ねてくる方もタイムスリップしたような感覚にとらわれるようです。今ではネットで「レトロな床屋さん」と検索するとすぐ出てくるくらい。映画やTVドラマの撮影にも、度々使われています。

世田谷で理容師をやっていたころ、理容師組合の研修会で妻と出会いました。世話好きなおばさんが、やや強引にまとめて、婿養子としてこの地(大久野)に來たという次第です。違和感なく、すぐ環境に慣れました。地元の消防団に入ったのが多分正解だったのでしょう。

しかし、理髪店はどうしても男性客、それも、ここでは常連の50代以上のお客様が中心。このままでは展望が見えないと、妻が10年ほど前に「お顔そり」を始めました。産毛と一緒に古い角質と毛穴汚れも取って、肌を守りながら無垢(むく)な肌に仕上げます。顔そりは、昔は女性が日常的にやっていたのですが、今はなかなかする人がいない。そこで、自作の「お顔そり」のチラシを新聞に折り込んでみると、ジワリと反応がありました。最近では50代の女性のお客様が4割を占めるまでになり、「お嫁に行くとき以来」というお客様もいて、喜んでもらえているようです。収入の安定にもつながっています。

日の出町商工会さんとは、商工会設立からのお付き合い。この7月には、娘が私たちの店の横のスペースにヘアサロン「髪と色」を開業しました。開業に際しては、経営指導員さんが本当に親身になって相談に乗ってくれました。小規模事業者経営改善資金融資制度(マル経)を限度一杯に借りられたのも指導員さんの奔走のおかげです。娘には、技術はもちろん「お客様にどうしたら喜んでいただけるか」の勉強をして欲しいと思っています。

■会社プロフィール

「今どきのきれいなお店ではないし、しゃれた会話もありません。早い仕事もできません。ですが、お客様が、どうしたら心地よくゆっくり休めるだろうか?と考えるながら仕事をさせていただいています」。ホームページの冒頭にあるフレーズだ。なぜ、このお店がこの地で90年間続いてきたのかの理由がここに集約されている。

地域と密着し、地域に愛される居心地のいい空間。90年間、3代にわたって受け継がれてきた「やさしいお店作り」は、昭和初期の雰囲気と相まって利用客にくつろぎとともに、どこか懐かしさを感じさせているようだ。

ただ、それだけでは新しい顧客を取り込めない。常連客だけではそれ以上の収入が見込めない。3代目のご夫婦が、古くて新しいサービスである「顔剃り」をメニューに加えたのが10年ほど前。時間をかけたカウンセリングを行い、クレンジング、シェービング、眉や襟足など微細な部分まで丁寧に剃る。「顔剃りは理容師しかできない技術。それを生かしたかった」(英子さん)。今は、口コミでも評判が広がり、あきる野市、松原村、八王子市からもお客様が来るようになったという。

また、長女が7月に、女性専用のヘアサロン「髪と色」を藤太軒の横に開業した。一人ひとりの髪質、髪量、好みに合わせて、その人らしいヘアスタイルを提案する。

日の出町商工会は、設立資金の融資斡旋を行ったほか、中小企業活力向上事業を活用し、専門家派遣などのフォローアップ支援を実施中だ。

100年続く店に向けて、4代目が着々と育っている。

- 住所: 〒190-0181
東京都西多摩郡日の出町
大久野1708
- TEL: 042-597-0836
- URL: <http://www.5c.biglobe.ne.jp/~tohtaken/index.html>



▲レトロな雰囲気の藤太軒理容所



松元 健一
日の出町商工会
経営指導員

| 経営指導員から一言 |

持続可能性が高い小規模事業者の見本です

藤太軒さんとは先代の頃から長い付き合いをさせていただいています。レトロな店構えから、TVドラマや映画のロケに使用されるなど、地元では有名なお店です。創業90年、先代、先々代からの積み重ねに甘えるのではなく、手作りチラシ作成や人柄を活かした接客対応など、持続的に事業を営むのに大切なものは何かを逆に教えていただいている事業所です。4代目候補の育成支援も行いつつ、感謝の言葉をいただける指導・支援を継続したいと思っています。



北多摩TOKYOカードラリー

12月24日まで実施中

東京都商工会連合会・多摩観光推進協議会は、東京北多摩エリア5市(小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市)の観光・スポーツ・文化施設・飲食店などを巡ってカードを集めるイベントを12月24日まで行っています。

各市の商工会や自治体と連携して実施している回遊性のあるイベントです。西武鉄道の駅などでスタートカードを入手し、プレミアムカードを含め、全部で30種類ある「オリジナルカード」を集めるカードラリーです。お子様連れのご家族を始め、世代を超えて皆様に楽しんでいただけます。

また10枚以上集めていただいた方には、抽選で5市のキャラクターグッズや特産品などの景品が当たります。

北多摩エリアの約90カ所が配布スポットとして参加しています。ふるってご参加ください!

スタートカードは、西武新宿線の田無駅・花小金井駅・久米川駅・東村山駅、西武池袋線の保谷駅・ひばりヶ丘駅・東久留米駅・秋津駅などで配布しています。



12月1月 EVENT GUIDE

多摩・島しょ地域のイベント

日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
12月	2日(日) 第5回 羽村にぎわい音楽祭 (羽村市)	羽村駅西口特設会場	羽村出身バンドなどの野外ライブ、模擬店、商店会パズルラリーイベントのほか、先着順で羽村産野菜・花のプレゼント、入場無料	羽村にぎわい音楽祭実行委員会(羽村東口商店会:042-555-5993、本町西口商店会:042-555-5421)
	8日(土) 三宅島GEOノルディックウォーク&ウォーキング(三宅島)	三宅島内	天然の火山博物館とも呼ばれるGEOアイランド三宅島を歩く絶景ウォーキング。当日はノルディックウォークのレンタルもある	三宅島観光協会(04994-5-1144)
	8日(土) 第8回 伊豆大島マラソン(大島町)	元町港をスタート。フルマラソンは大島全島一周	フルマラソン、ハーフマラソン、10kmの3コース	伊豆大島マラソン大会東京事務局(042-595-8632)
	23日(日) 大学通り商店会クリスマスイベント(国立市)	国立駅前大学通りの歩道・緑地帯(JR中央線国立駅南口)	恒例のイルミネーションツリーやオブジェが1日～31日に点灯。23日は昼間にイベントを開催(ミニコンサート・国立ポイント抽選会など)	大学通り商店会事務局(国立市商業協同組合事務局内:042-572-1730)
1月	8日(火) 平成31年 昭島まちづくり新年賀詞交歓会(昭島市)	フォレスト・イン昭和館	行政、市民団体、事業者が一堂に会し、異業種間交流や地域交流など幅広い市民の交流の場とする	平成31年昭島まちづくり新年賀詞交歓会実行委員会(042-543-8186)
	10日(木) 羽村市商工会 平成31年新春経済講演会(羽村市)	生涯学習センター ゆとろぎ小ホール	テーマ:これからの時代に求められる「人間力の経営」講師:櫻田 厚氏(モスフードサービス代表取締役会長)	羽村市商工会(042-555-6211)
	13日(日) 第38回 八丈島パブリックロードレース(八丈町)	富士中学校(スタート・ゴール)	ハーフマラソン、10km、3kmの3コース	八丈島観光協会(04996-2-1377)
	20日(日) 駅伝・ロードレース大会(新島村)	新島村内	毎年恒例のランニング行事。老若男女だれでも参加できます	新島村教育委員会(04992-5-0203)
	24日(木)～27日(日) 第16回 あきる野・檜原すぐれもの物産展(あきる野市)	あきる野とときゅう1F センターコート	あきる野・檜原地域のオリジナル商品・自慢の逸品などを一堂に集めた物産展	あきる野商工会(042-559-4511)
	26日(土) 映画のチカラコンテスト2018 審査発表会(新島村)	東京アイランドカフェ	学生による新島・式根島PR映像コンテストの表彰式(一般の参加も可)	新島村商工会(04992-5-1167)
	26日(土)～27日(日) 第29回 八丈島産業祭(八丈町)	八丈町役場	漁業・農業・商工業者による特産品などの展示・即売会	八丈島産業祭実行委員会(役場内:04992-2-1125)
	27日(日)～3月24日(日) 第64回 伊豆大島椿祭り・椿プラザ(大島町)	大島全島、メイン会場は大島公園	1月27日はオープニングで「江戸みこし」と「あんこパレード」3月24日まで盛り沢山のイベントを予定	大島観光協会(04992-2-2177)

念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、お出掛け下さい。



立体マップに外国人が興味津々 農産物が人気! 完売続出

「東京多摩観光フェア」を新宿で開催 多摩観光推進協議会/JA東京中央会/JR東日本

多摩観光推進協議会、東京都農業協同組合中央会(JA東京中央会)、東日本旅客鉄道(JR東日本)は、9月18日～22日の5日間、新宿・JA東京アグリパークで「東京多摩観光フェア」を共同で開催しました。多摩地域の観光地の魅力を発信し誘客につなげていきます。

東京都全域の大型立体マップの展示、観光マップの配布、多摩地域の農産物や多摩の産物でつくったスイーツや加工品を販売しました。また、イートインを設け、うどんなど飲食の提供も行いました。

入り口前に置かれた大型立体マップは通行人の目を引き、立ち止まって手を触れる外国人観光客も数多く見られました。会場内では農産物が大人気。小松菜、枝豆、水ナスなどは早々に完売となり、多摩産の大ぶりな梨「かおり」も好評でした。

多摩観光協推進会は、「北多摩TOKYOカードラリー」のPRや、多摩の古民家宿泊体験の募集を行いました。JR東日本八王子支社は「青梅線沿線観光」のPRに熱を入れていました。



▲外国人観光客も大型立体マップに興味津々



▲多摩の梨「かおり」も好評

江戸・TOKYO

技とテクノの融合展 2018

幅広い業種の中小企業274社と
11の支援機関・団体が出展

東京都信用保証協会が主催し、東京都や東京都商工会連合会(都商工連)が後援する「江戸・東京 技とテクノの融合展」が10月2日、東京・丸の内東京国際フォーラムで開かれました。

同展示会は、中小企業や小規模事業者の交流、取引先や提携先の開拓、新技術・新製品のPRなど、ビジネス情報収集の場を提供する展示会です。幅広い業種の魅力ある中小企業274社と11の支援機関・団体が出展しました。都商工連も支援機関エリアに出展し、中小企業支援事業などをPRしました。

会場には出展企業がプレゼンできるスペースが設けられ、にぎわいをみせていました。また、アニメ・キャラクターなど著作権を用いたビジネスに関する専門家相談も行われました。

開場に先立って行われた開会式では、村山寛司東京都信用保証協会理事長をはじめ、来賓の藤田裕司東京都産業労働局長、村越政雄都商工連会長らがテープカットを行いました。



▶伝統の江戸木目込み人形にも新しい風が